

ひの

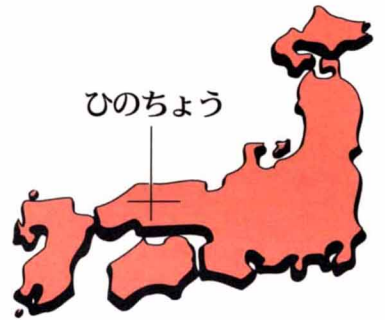
広報

平成12年

No. 562

11月号

ひのちよう



発行・日野町役場 〒689-4503 鳥取県日野郡日野町根雨101 ☎(0859)72-0332・FAX 72-1484 ■編集・企画振興課 ■印刷・株式会社高下印刷



幼稚園の先生に引率されて園児約75人が来町

**鳥さんにあげてください
とうぞ**

十一月二十九日、米子市の、あけほの幼稚園の年少組園児七十五人が根雨のオシドリ観察小屋に訪れ、保護者と一緒に集めたドングリ約一〇〇キロを、オシドリグループ（池岡幸三代表）にプレゼントしました。

園児たちは、小屋の前で「鳥さんにあげてください、どうぞ」大きな声であいさつしながら、ビニール袋に小分けしたドングリを、グループの人に手渡しました。そのあと備え付けの望遠鏡をのぞいてオシドリを観察。「かわいい、きれい」とはしゃいでいました。

日野川には今年もオシドリが数多く飛来し、見学に訪れる人々の心をなごませています。

また世話役のオシドリグループのもとには、全国からドングリやクス米などの餌が届けられ、交流の輪がますます広がっています。

今月の主な内容

- 幼稚園児がドングリをプレゼント…………… P1
- 鳥取県西部地震の特徴…………… P2~3
- 新日野病院開院…………… P4~5
- 町議会臨時会…………… P6
- 町地震災害復興事業…………… P7
- 鳥取県西部地震による減免措置予…………… P8
- 自治会長会議…………… P9
- 日野病院レター・在宅介護センターだより…………… P10
- 文化センターだより…………… P11
- みんなのひろば…………… P12~13
- 鳥取NOW発売・オシドリニュー…………… P14

地質の良さが被害を抑える

鳥取県西部地震

平成十二年十月六日午後一時三十分に発生した「平成十二年鳥取県西部地震」から二カ月経ちました。

そこで、鳥取大学工学部土木工学科の西田良平教授に今回の地震の特徴や、今後の対策について話を伺いました。

震度の分布

今回の地震では、震源までの距離が異なる日野町と境港で同じ「震度六強」を記録しているようです。また、鳥取や出雲と、高知や大阪が同じ震度となりましたね。

西田 日野・溝口・西伯町で震度が大きかったのは、震源に近かったためです。境港は地盤が砂地と悪く、そのため震度が大きくなりました。

また、震度の比較的大きかった地域は、岡山県から四国と、震源の南南東側に広がっています。松江、鳥取、出雲などは、震源までの距離が近いのに震度が小さい。

このことから、この地震のエネルギーが、南南東の方向へ出ていったことが判ります。このため、震源の南南東側に

ある日野町に、大きな被害が出たと考えられます。

また、日野町の中でも、震源から南南東の線上にある下黒坂、根妻、小原方面の被害が大きかったと思われる。



鳥取大学工学部土木工学科
西田良平教授

被害の特徴

マグニチュード七・三の地震にしては、被害が少ないとの指摘がありますが。

西田 地震の発生時間が午後一時三十分、震源が山間部で激震域も都市部でなかったためでしょう。

また、家屋の倒壊、斜面崩壊、落石など大きな被害が出ました

が、地盤が岩盤で良く、さらに堆積層が薄かったため、全壊となるべき所が半壊で済みました。しかし、住めなければ全壊と同じです。日野川沿いにある下榎などの被害は、地盤の影響で大きくなりました。

群発地震との関連

今回の地震は、鎌倉山南方活断層と関連はないのですか。

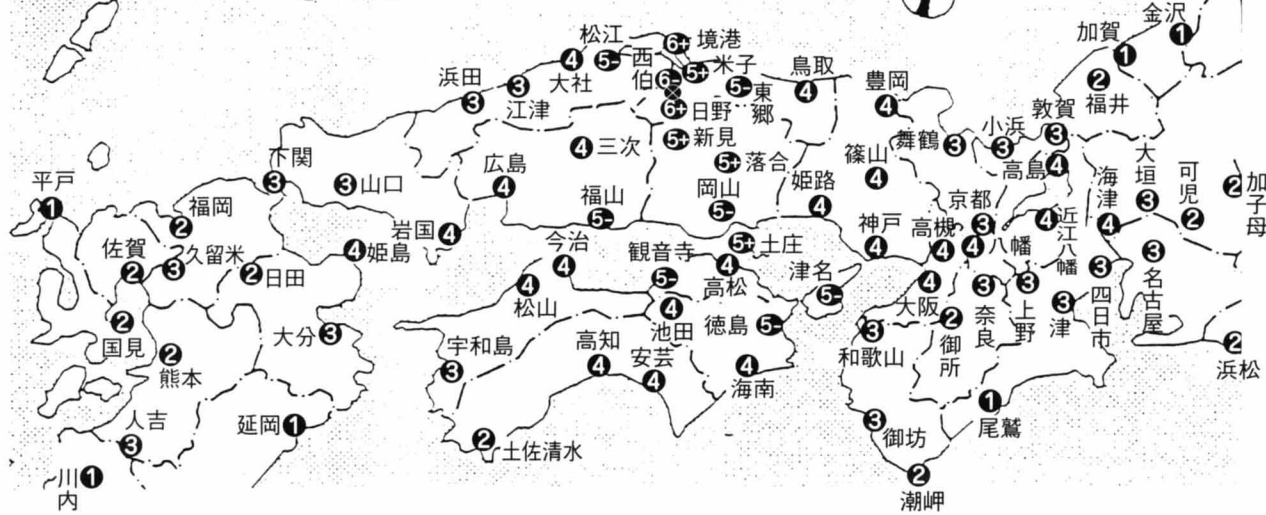
また、十一年ほど前からの群発地震とはどうでしょうか。

西田 鎌倉山南方活断層とは無関係と考えられますが、群発地震は、関係しています。

中国地方の地下では、太平洋プレートが日本列島の下に沈み込むことによって生じる圧力などが常に働いています。圧力は、必ずしも同じ方向・同じ大きさではないので、地下にたまたま弱い所があると、この圧力によって地下断層がずれ、地震が起こります。この断層が小さいと小さい地震、大きいと大きい地震となります。

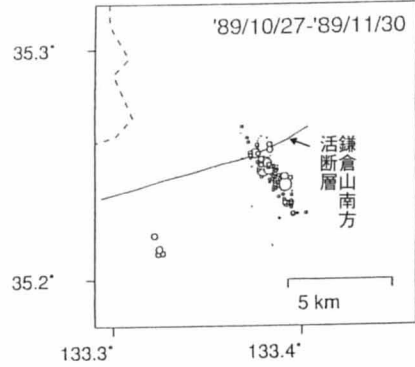
この断層は、力のかかり具合などで、ある所では大きく、別の所では小さくなり、一定ではありません。また、小さな断層がたくさん集中することで、大きな断層が生じることがありま

各地の主な震度 ⑥=震度6弱 ⑥+ =震度6強 ④=西郷 ×=震源

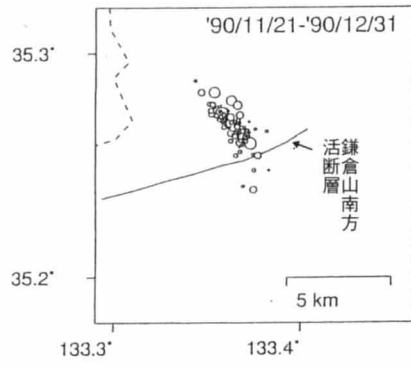


群発地震の分布

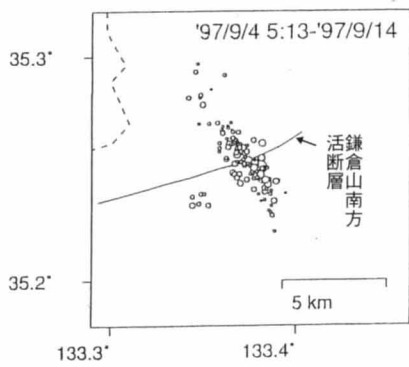
1989-90年の活動



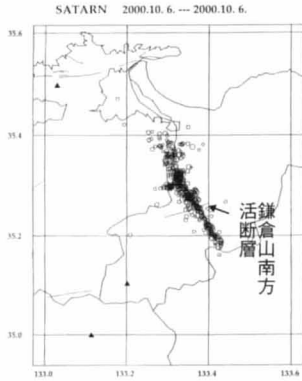
平成元年 10月27日から 11月30日



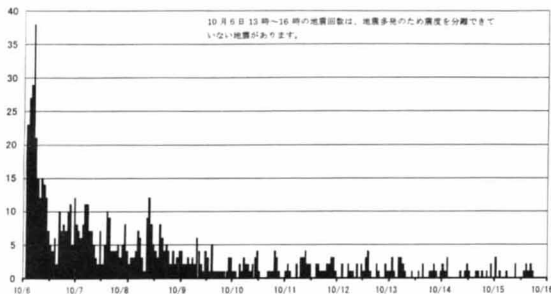
平成2年 11月21日から 12月31日



平成9年 9月15日から 12月31日



平成12年 10月6日の本震と予震の分布



震度1以上が観測された地震回数
(10月6日12時~10月16日12時)

群発地震の分布を見ると、平成元年に鎌倉山南方活断層の南南東側、平成二年には北北西側、平成九年に全体となっています。

本震の断層は、北北西から南南東へ、約二十キロの長さに及ぶ左横ずれ型です。群発地震の分布は、今回の本震・余震の分布と重なっています。

地震の予知は

今後とも余震は続くのでしようか。

西田 余震活動は、順調に減衰しています。余震は、割れ残りが割れていると言っても良いでしょう。たまに少し大きめの余震があるかもしれませんが、予測は難しいですね。

予測が難しいと言っていることは、予知できないと言っていることですか。

西田 ですから逆に、日時と場所を指定している地震予知情報は、デマの可能性が高いのです。いたずらに惑わせられないでください。

地震予知がまったくできないわけではないのです。ただ、実用化段階に入っている所でも、予知できるのはマグニチュード八クラスの巨大地震です。またその場合でも、このくらいの期間に起こりそうだとは予測できても、日時の指定は不可能です。それに比べると、マグニチュード五クラスの地震は、エネルギーにして約三万分之一。予知することは、現状では不可能に近いことです。

日頃の生活が大切

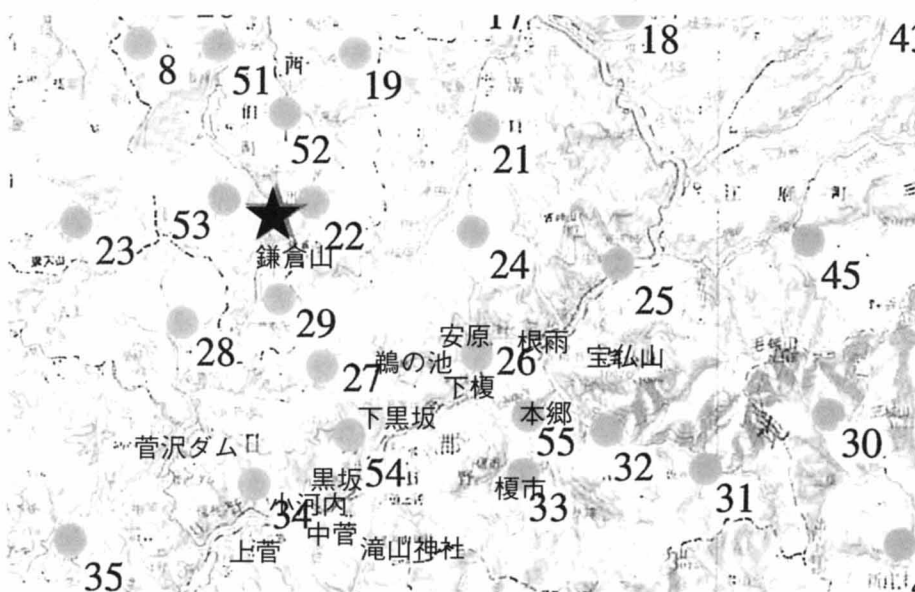
予知が難しい地震。私たちはどんなことに気をつけたら良いのでしょうか。

西田 三つあると思います。一つは、家の中。今回の地震で、寝ていた所はどうなっていましたか。タンスなどが倒れてきていませんか。戸口の周りに家具を置いていませんか。地震で家具がずれ、戸が開かなくなったら、逃げられませんか。

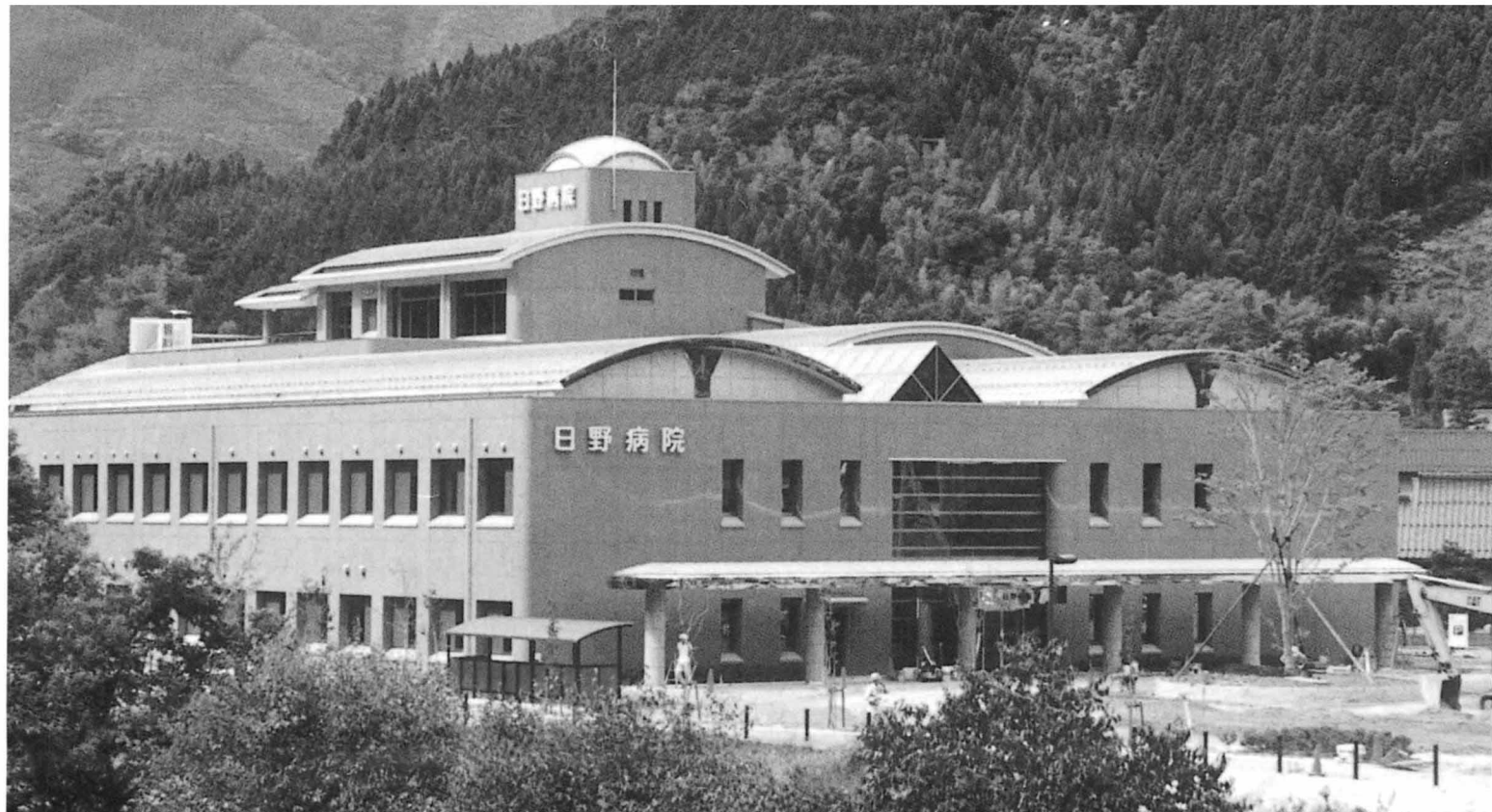
るのは、身近な人です。つまり、日頃の生活が大切だということなのです。家の中を清潔にして、物を少なく、隣近所との日頃からの良いお付き合い。普段の生活に気をつけることが、地震対策につながると思います。

自分の身や家族は、自分で守らなくてはならないという意識を強めてください。

二つめは、家の周り。どこが安全で、どこが危険か、あらかじめ調べておくとういでしょう。三つめは、近所の人とのコミュニケーション。大規模災害で助けられて



震源地の位置図



竣工式は平成12年11月18日に開かれた

新日野病院が11月1日に開院

地震の影響で予定より二か月早く
 広く・明るく・快適と好評です

野田地内に移転新築した日野病院（堀江裕院長）が十一月一日開院、さっそく、外来患者約百八十人が診察に訪れました。

当初、新日野病院は来年の一月開院をめざしていましたが、地震で旧病院が被災し、使用できなくなったため、急きょ開院が二か月早められました。

十一月十日からは入院患者の受け入れも始め、十月六日の地震以降、日南病院、溝口中央病院などに緊急転院していた患者さんも帰ってきておられます。

新しい日野病院は、鉄筋コンクリート造四階建てで、敷地面積一、〇四五平方メートル、建物延べ床面積八、二四七平方メートル、駐車場は、百四十五台分。建設事業費は三十一億一千二百十万円です。

一階には、受付窓口・事務室、待合ホール、各診療科のほか、

薬局、リハビリテーション室、レントゲン室、検査室、売店、軽食喫茶室などが備えられています。

二階は病室、手術室、透析室、訪問看護ステーションのほか、病院長室、会議室、医局など。三階は主に病室となっています。

病室は二・三階階で五十六室、百十七床、それぞれの階にナースセンター、食堂・デイルーム、浴室、洗濯室等が備え

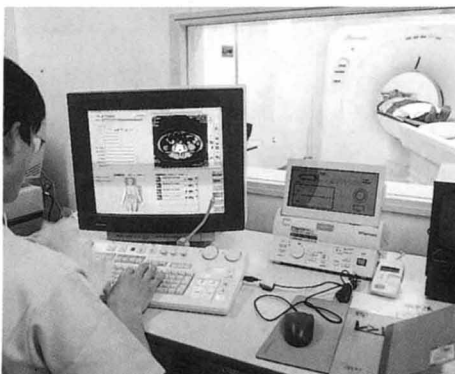
られています。四階には浴室がありません。

また高度医療機器であるMRIやCT、人工透析など数多くの近代医療機器・施設を備えています。

診療科は内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、リハビリテーション科、皮膚科、婦人科の十二科です。



朝のミーティング



高度医療機器のCTも



患者さんと対話を 進めていきたい

日野病院院長
堀江 裕

地震発生後、仮設診察室での診療と併せて大慌ての引越で、職員の方にも負担をかけてしまいました。関係者のす早い対応で病院を再開でき、やっと落ち着きました。

十一月三十日現在、七十名の患者さんに入院していただけたところまで、機能が回復し、職員一同とても喜んでいきます。

地震から二か月が過ぎようとしています。ですが、血圧が高い、不眠に便秘と、まだまだ地震を引きずっている患者さんが多いのが実状です。誰かに話を聞いてもらうだけでも違うので、玄関横に『なんでも相談科』を創る



受付窓口

外来診療の受付時間は午前八時三十分から午前十一時三十分まで、一部の診療科では午後二時からの受付もあります。

診療に訪れた方から「広く、明るく、快適な病院となつてうれしいです」と喜びと期待の声も聞かれました。

医療・福祉・保健の 中核病院として期待

旧日野病院は、昭和十五年に日野郡産業組合連合会立で根雨地内に誕生してから六十年を経過。昭和四十五年に改築増床さ

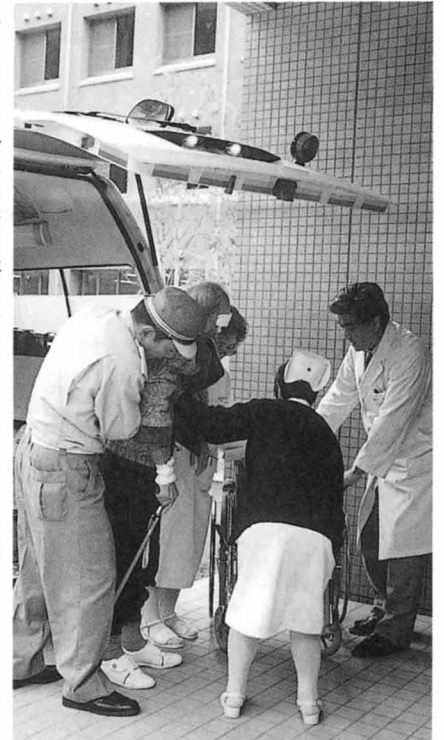
うかと思っています。

生きた人間の悲しさ、辛さ、楽しさは、心理学や社会学では分かりません。患者さんと対話を進めて行くことは、これからの日野病院にとっても必要です。

『水と空気』のように思っていた日野病院が、実は本当に大切な水と空気であったということが、失つて初めてわかりました。この気持ちが変わらずに、二十一世紀へ向けた地域から信頼される、安心してかかれる病院をめざしたいと思えます。



薬局



11月10日転院していた入院患者さんも帰院

れています。老朽化が進んでいました。

平成八年三月から自治体の日野・江府・溝口三町で構成する一部事務組合「日野病院組合」に移管。狭く、老朽化が進んで地域医療施設としての機能や患者のニーズに対応できない状況から、平成十一年四月に野田地内で移転新築工事に着手し、今

年九月に完成しました。

来年四月からは訪問看護ステーションも開始することにしており、今後、中山間地域の医療、福祉、保健の中核病院として、地域の発展を担うものと期待されています。

職員の募集

日野病院は、一般事務職員を一名募集しています。受験資格があるのは、日野町・江府町・溝口町に住所があり、昭和四十九年四月二日から昭和五十八年四月一日までに生まれた方です。

試験の受験申込は、平成十二年十二月二十五日までです。

試験日など詳しくは、日野病院総務課（電話 七二一〇三五）へお問い合わせください。